

暮らしの文化はぐくみ事業～親子で体験！京の暮らしの文化～

背景

京都には数多くの無形文化遺産があるが、法令上文化財としての指定・登録が困難なものがある。そこで、それらの価値を再発見、再認識し、大切に引き継いでいこうという市民的気運を盛り上げるため、平成25年4月、京都市独自の制度「京都をつなぐ無形文化遺産」制度を創設。これまでに6件を選定した。

目的・効果

これらの普及啓発を行うことで



<実現していくための具体事業>

1日体験型

京の暮らしの文化フェスタ

～京の食文化、年中行事、地蔵盆をはじめ、暮らしの文化を1日でいろいろ体験！～
一度に複数の暮らしの文化等を体験できるフェスティバルを開催することで、地域の文化の多様さを知ってもらい、暮らしの文化を継承する大切さを学ぶ。

▶キッズ京菓子デザインコンテスト、数珠回し、行灯づくり、梶の葉イメージの七夕飾り、京扇子絵付けなどを体験できるブースを設置



講座型

教員参加可

親子で体験！ 京の食文化

～和食の料理人の実演で学ぶ～
季節感やおもてなしの心などの精神文化が息づく食文化を旬の素材を使った和食の調理実演を親子で体験し、食卓を囲むことで、家庭内での実践へつなげる。

▶年4回開催
▶親子で実演を見学、試食

講座型

教員参加可

親子で体験！ 京の菓子文化

～季節の和菓子作りを体験～
季節や年中行事に深く関わる菓子文化を親子で体感し、その継承の必要性を学ぶ。和菓子の職人の担い手育成にも寄与する取組とする。

▶年3回開催
▶親子で和菓子作りを体験、試食



1日体験型

親子で体験！ 京のきもの&生活文化

～京町家で華道・茶道体験～
きもの文化の継承と普及のため定められた「きものの日」がある11月に、暮らしの文化を育んできた京町家で、きものを着て親子で華道・茶道を体験することで、より深い経験へとつなげ、暮らしの文化を守り受け継ぐ心を醸成する。

京都をつなぐ無形文化遺産

京の食文化
(平成25年10月)



京の地蔵盆
(平成26年11月)



京の菓子文化
(平成29年3月)



京・花街の文化
(平成26年3月)



京のきもの文化
(平成28年2月)



京の年中行事
(平成30年3月)

